

# 災害なんかに負けない地域をつくろう！

## 北区清水学区 震災避難行動マップ

この震災避難行動マップは、名古屋市が公表した「南海トラフ巨大地震の被害想定」をもとに、大規模地震が発生した場合を想定して、清水学区のみなさんが、お住まいの地域の危険箇所などについて話し合い、作成したものです。

この震災避難行動マップをもとに、「いざ」という時どんな行動をとればよいのか日頃から考えておきましょう。

パソコンやスマートフォンでも防災マップを見ることがあります。  
<http://comu.dochubu.com/nagoya-kitaku/>



### 役に立つもの

#### 地下式給水栓

地下式給水栓は、災害時に地域のみなさまが自ら操作をしていただくことで、飲料水を確保することができる災害用のじゃ口です。



#### 下水道直結式仮設トイレ

マンホールに直結できる仮設トイレです。避難所のトイレ不足を補います。



#### コンビニエンスストアなど

このステッカーの貼ってある店舗は、「災害時帰宅支援ステーション」として、公共交通機関が不通となったとき、徒歩で帰宅しようとする人たちを支援する店舗です。トイレや避難スペースの提供など災害時に可能な範囲で支援協力が得られます。

#### 地域防災協力事業所

災害時に地域に対して支援協力してくれる事業所です。

#### 公衆電話

NTTが設置する公衆電話は、災害時には優先的につながり、状況に応じて無料になります。ただし、国際電話は使えません。

### ●凡例

	家屋の倒壊などにより住居に被害を受けた方、あるいは被災を受けるおそれのある方を、一時的に受け入れ、滞在させるための施設です。
	地域防災協力事業所
	下水道直結式仮設トイレ
	AED (自動体外式除細動器)
	広域避難場所

学区境

### 気を付けて!!

#### 1. 空き家

耐震性が低いと倒壊しやすく、無人のため火災延焼の危険あり

#### 2. 古いブロック塀

大きな地震では倒壊する危険があるため近づかない

#### 3. 狹い道

近くの家が倒壊した時、道がふさがれて通りにくくなる可能性あり

#### 4. 電線(高圧線)

切れた電線は停電時でも感電の危険があります。絶対に近づかない。また、高圧線の落下にも注意

#### 5. 瓦屋根

大きな揺れの際には危険。瓦屋根のある家屋に住んでいる人は、あわてて外に飛び出さない



### 知っておこう道路閉塞率について

南海トラフ巨大地震の名古屋市の被害想定(あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震)をもとに、地震の揺れによって建物が倒壊し、道路がふさがって通れなくなる可能性を評価したもの。

※液状化を考慮して計算された建物の全壊率から、沿道の各建物高さと道路の幅員(歩いて避難する場合には、最低2mの道路幅が必要と設定)を考慮して、道路が閉塞する確率を算出。

出典：震災に強いまちづくり方針

40%～70%のエリア

70%以上のエリア

この想定はあくまで一定のデータ条件をもとに統計的に算出されたものであり、想定にとらわれすぎないように注意しましょう。

### 指定避難所一覧

- ① 清水小学校
- ② 八王子中学校
- ③ 清水コミュニティセンター
- ④ 青少年交流プラザ



## 北区清水学区 災害時の特性と対策

清水学区では、震度6弱から6強の揺れが起こる可能性が想定されています。そのため、日ごろから家具の転倒防止などの耐震対策を実施しましょう。

火災が発生した場合は、燃えて倒壊する建物が道を塞いだり、強い熱風が吹き荒れる懸念があります。

また、液状化現象が起こる可能性が高い箇所もあり、建物が傾いたり、泥水が溢れだし道を通ることができなくなる可能性があります。これらのこと踏まえ、適切な避難先と、そこまで安全にたどり着くための経路をあらかじめ複数考えておきましょう。

## 地震発生！ 災害時の対応

激しい揺れ

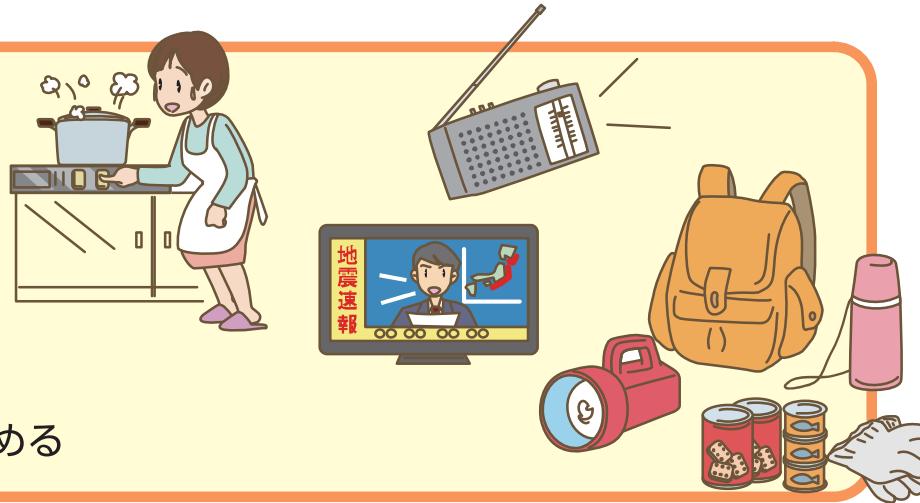
すぐに家から飛び出さない  
冷静に!!

- 頭を守り、倒れるもの・動くものから離れる
- 揺れが止まるまで体を低くして動かない
- 避難口を開ける



揺れが止まった

- 怪我をしないように靴やスリッパを履く
- 家族の安否確認・自宅の被害状況の確認
- 火の元の確認、出火したら初期消火
- テレビ、ラジオ、スマートフォンなどから正しい情報を入手
- 非常持ち出し品の準備
- 電気のブレーカーを落とす・ガスの栓を閉める



隣近所で  
安否確認・救助

- 火災が起きたらすぐに消火
- 助けを求めている人がいないか確認
- 高齢者や障害者の安否確認



一時集合場所へ  
集合

- 各地区の組ごとの一時集合場所へ集合し、組内の安否確認を実施し、自治会長へ報告
- 救助活動や一人で避難することが難しい方の避難誘導に協力



付近で火災等  
の危険発生

- 火災からの避難**
- 火災が延焼拡大した場合は、広域避難場所などの身を守ることができる場所へ避難
  - 火災を避け、風上に逃げる
  - 倒壊家屋が道を塞ぎ、火災が延焼するので注意



**余震からの避難**

- 周りに倒壊しそうな建物がない小中学校のグラウンドなどの広い空地へ避難
- 建物の倒壊等に注意



危険がなくなったたら  
自宅での滞在が可能か

**自宅に住めるなら、なるべく自宅で避難生活を！**

避難所には不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋崩壊などの危険がない場合は、自宅で避難生活を続ける“在宅避難”を考えましょう。

- 地区本部（清水小学校）に在宅避難を知らせよう！
- 周囲で声掛けし、助け合おう！

在宅避難

指定避難所

## 清水学区 避難のルール

①地震が発生し、被害がなければ白いタオルを玄関の分かりやすい場所に掲出しましょう。

②避難の際はストーブなどの火の元を確認し、電気ブレーカーを落とし、貴重品を持って避難しましょう。

③組ごとの一時集合場所を決めておきましょう。  
日ごろから、各世帯で避難する場所を確認しておきましょう。



④組の皆さんで協力して安否確認を実施し、安否確認の結果は自治会長に報告しましょう。

⑤火災を見つけたら声を掛け合い消火しましょう。ただし大規模な火災の場合は無理をせず、名城公園などの火災延焼の危険が無いところへ避難しましょう。

⑥清水小学校に災害救助地区本部を設置して、行政との情報伝達を行います。  
被害の状況などを災害救助地区本部に連絡してください。

⑦指定避難所は余震に対しての建物の安全を確認し、通路や支援が必要な人の場所を決めてから開設します。

## 一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

### 情報の入手や判断が難しい方

(例えばこんな方)

目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障がいのある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など

(対応方法)

- 優しい言葉でゆっくり声かけ  
メモや、身振り手振りで伝える

### 移動が難しい方

(例えばこんな方)

普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど

(対応方法)

- 複数で手伝う  
身近にあるものを利用する

住民からの  
メッセージ



学区の訓練に  
一緒に参加しま  
しょう

日頃からのつな  
がりを大切にし  
ましょう

断水に備えてト  
イレ対策もして  
おきましょう

